

ChiKaRa

すずかけセントラル病院 広報誌

Vol. 14

特集 前立腺肥大症に対する最新治療



CONTENTS

新入職員・新任医師のご紹介
お知らせ・イベント情報

表紙の人 すずかけセントラル病院 泌尿器科
医師 栗田 豊

病棟編成変更のお知らせ

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)を目途に「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。これは、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるように「住まい・医療・介護・予防・生活支援」を包括的に受けられる体制を目指すものです。そのために、地域の医療需要に応じた病床再編、機能分化が進められています。

当院もそれに準じて3月1日より、左図の通り病棟編成を行い対応しております。今後も地域の皆さまが安心して医療が受けられるよう、機能の充実を図ってまいります。

3A病棟	一般病棟
3B病棟	一般病棟
4A病棟	回復期リハビリテーション病棟
4B病棟	地域包括ケア病棟
5A病棟	高次ケア病棟
5B病棟	療養病棟

外来担当医について

4月より外来担当医が変更となりました。詳しくはホームページまたは総合案内にてご確認をお願い致します。

医療費の負担額が変わります

平成28年4月に診療報酬改定がおこなわれました。これに伴い、従来のお支払額とは異なりますのでご了承ください。

出張講座を開催しました

2月28日 新津地区社会福祉協議会にて「暮らしの安心講座」として、健康管理センター職員が「健康診断を活かそう」などのミニ講座を行いました。



リハビリ体操講座を開催しました

2月26日 可美26会の皆様に、ミニ健康講座として、「理学療法士によるリハビリ体操」を開催しました。参加者の皆さんは、笑顔で楽しく運動していました。



《土曜診療》を開始いたしました

地域の皆様の要望にこたえるべく、4月より土曜診療(午前中)を開始しました。総合診療科(1科)での体制となります。健康診断で要受診や再検査を指摘されている方や平日は仕事などで病院にかかれない方は、是非ご利用ください。

詳しくは、地域連携室(443-0177)、健康管理センター(545-3322)にお問い合わせ下さい。

院内売店について

4月25日 院内売店「ミニストップ」が開店いたします。様々な商品を取りそろえ、皆様のご要望にお応えしていきます。ご来店お待ちしております。

休日当番医について

5月3日(祝) 休日当番医です。診療科目は、内科・外科・整形外科・眼科を予定しています。

編集後記

地域の皆様のニーズにこたえ、病院機能も進化していきます。今後も、最新の情報発信をしていきます。

浜松市南区田尻町120-1

TEL : 053-443-0111 FAX : 053-443-0112

http://www.suzukake.or.jp

発行 すずかけセントラル病院 広報委員会

発行日 平成28年4月18日



前立腺肥大症に対する

最新治療

前立腺肥大症とは
前立腺は膀胱の下で尿道の周りを取り囲んでいます。そのため、前立腺が肥大すると、尿道がしめどめられ、「尿の出が悪い」とか「トイレが近い（頻尿）」などの症状が出ます。尿閉といって尿が自力で出なくなり救急車で来院される患者様もいらっしゃいます（図1）。



前立腺の大きさが軽度から中等度（30〜40g）の場合、症状は薬でかなりよくなりませんが、根本的な治療には手術が必要です。手術とはいっても、ほとんどの人は内視鏡での手術が可能です。当院では、ある程度の症状がある場合には手術をおすすめしています。術後は、今までにない爽快感が得られたとの感想をよく耳にします。

治療の種類

基本的な薬物療法が中心です。効果が認められない場合は、経尿道的内視鏡手術を積極的におすすめしています。

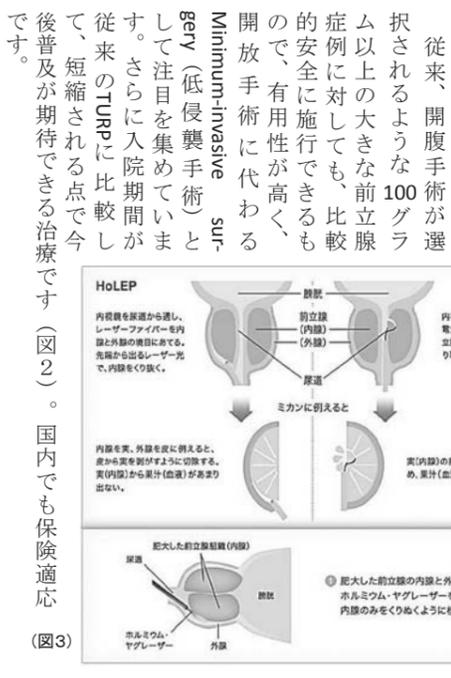
比較項目	HoLEP	TURP	TURis	PVP
適応前立腺サイズ	制限なし	60g前後	60g前後	80g前後？ (ファイバ耐久性?)
出血量	極めて少ない	多い	多い	極めて少ない
抗凝固剤	○	×	×	○

(図2)

前立腺肥大症 (BPH) の治療法は、薬物療法および外科的治療に大別されます。排尿障害の程度が比較的軽い患者様には、初期治療として、薬物療法が選択されます。

中等ないし重症症例に適応される外科的治療法としては、内視鏡手術の概念としては、従来とは異なった方法の術式が登場しました。それが、ホルミウムレーザー前立腺核出術 (holmium Laser enucleation of the prostate: HoLEP) です。

HoLEPは、ホルミウムレーザーを用いた内視鏡下の前立腺核出術です。今まで前立腺核出術は、開腹にて被膜下摘除術という方法を用いて行われていました。HoLEPは内視鏡下で、外科的に被膜へ侵入し、無血管野を剥離し、腺腫被膜を破ることなく前立腺内腺を核出します。



(図3)

HoLEP治療のメリット

HoLEPの特徴は、レーザー光の照射だけではありません。この治療方法は、体への負担がより少ない前立腺肥大症治療を実現します。TURP術後の患者様は活力にあふれます。これは紛れもない事実であり、日々外来診療において肌で感じることであります。本手術は術後の経過観察において、患者満足度が高く、生活強度（社会参加、やる気、集中力）が向上していることに注目されています。

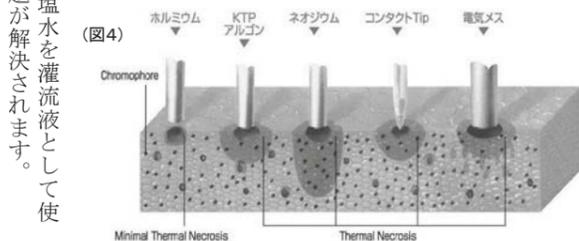
1. メスを使用しない、体に優しい手術
内視鏡を使用する手術ですので、メスで腹部を切る必要がなく、体への負担は少なく、患者様のQOL (Quality of Life: 生活の質) 向上に貢献できる治療法です。

2. 安全性の高い手術
HoLEPに使用されるホルミウム・ヤグレーザーは、水への吸収率が高いため、組織到達深度はわずか0.4mmです（図3）。また、ホルミウム・ヤグレーザーは、レーザーファイバーの先端を組織から5.0mm離すと組織に影響を与えません。つまり尿道や膀胱内が水で満たされれば、ほかの組織に影響を及ぼすことなく照射できます。2.0mm以下の距離では、組織の切除が可能となり、同時に組織を焼くことで止血が行われます。

3. 痛みが少ない手術
HoLEPは、前立腺組織のうち、血管が少ない外腺と内腺の境目を切除しますので、出血や術後の痛みが少ない手術です。そのため、鎮痛薬を使用する頻度が少なくなっています。

4. 合併症が避けられる
HoLEP同様、内視鏡を使用する前立腺肥大症手術であるTURPは、非電解質の灌流液（手術の際の出血や切除した組織を洗い流すための液体）が体内に吸収されることによる「低ナトリウム血症」という合併症を起すことがあります。しかし、HoLEPでは、血液・組織液と浸透圧が等しい生理食塩水を灌流液として使用できるため、「低ナトリウム血症」の問題が解決されます。

5. 再発の可能性がきわめて低い
HoLEPでは、肥大した前立腺組織（内腺・腺腫）を核出するため、残存組織が少なく、再発の可能性が減少します。



(図4)

人生80年時代の前立腺肥大症治療戦略

日本は超高齢社会を迎え平均寿命も延長しつつあり、男性平均寿命は80歳となっています。前立腺は食事の欧米化や生活環境の変化により肥大傾向にあり、前立腺肥大症の罹患率は急増しています。また、高齢による併存疾患の増加と、耐術能力の低下に加え、前立腺が肥大化するため尿閉をきたし、尿道カテーテル留置を余儀なくされる患者様が增加しております。HoLEPは低侵襲治療でありながら根治性が極めて高く、アンチエイジング手術としての価値を高めています。



筆者 栗田 豊 (泌尿器外科センター長)

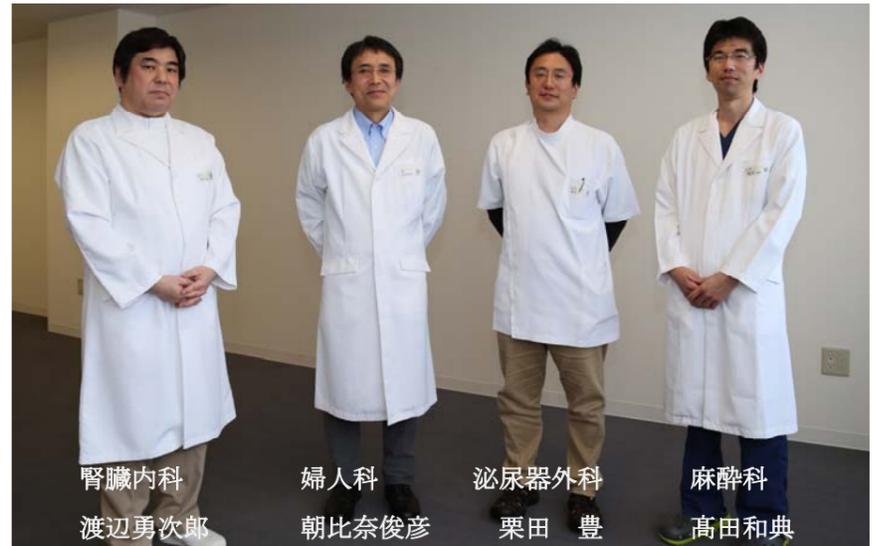
人生80年時代を迎え、前立腺肥大症治療戦略として、HoLEPは今後ますます重要な役割を担うものと考えられます。

泌尿器外科 栗田医師

2月より、泌尿器外科センター長として勤務しております。泌尿器手術（ラパロおよび開腹）、経尿道的前立腺肥大症レーザー核出術 (HoLEP) を中心に一層精励いたします。よろしくお願いたします。

婦人科 朝比奈医師

4月より婦人科に勤務することになりました。専門は不妊治療、体外受精です。焼津市の生まれで藤枝東高を卒業後、九州は宮崎の大学で6年間のんびり過ごしました。サッカーが飯より好きで、いまは観戦専門ですが、若い頃は鈴木一也院長と一緒に、社会人リーグに精を出しました。お好きな方は一緒に高校サッカーを見に行きましょう。



腎臓内科 渡辺勇次郎 婦人科 朝比奈俊彦 泌尿器外科 栗田 豊 麻酔科 高田和典

新任医師紹介

腎臓内科 渡辺医師

3月から勤務しております。大学卒業後、主に腎臓内科医として働いていましたが、糖尿病が原因で腎臓が悪くなる患者様が増えてきたことから、糖尿病の診療もさせていただくようになり、当院でも2年ほど前まで糖尿病と腎疾患を中心に診させていただいておりました。しばらく他県で多領域の勉強をいたしました。再度当院で働かせていただく事となりました。よろしくお願いたします。

麻酔科 高田医師

4月から勤務することになりました。手術麻酔はもろろん、今年度からは初めてペイン外来にも携わることになりました。様々な職種の方と協力して、より良い医療を提供していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

笑顔のニューフェイス



平成28年度 新入職員
すずかけ
セントラル病院

よろしくお願いたします!!